



せいほう



久留米市立青峰小学校

校長 森 勝之

「対話」の困難さ



大分大学清國教授の教育誌への投稿文の一部を紹介します。

学校教育において「対話」は重要な行為です。「対話によりスムーズに合意形成が図られ滑らかに事が運ぶ」と思われがちですが、その前に超えるべき壁があり、昨今は「対話」は容易ではないと述べています。(以下引用)

「対話」とは「向かい合って話すこと。相対して話すこと。二人の人がことばを交わすこと。」(広辞苑)であるが、そこには企図されている。真の理解に到達するためには、話し手は聞き手の背景にも思いを巡らせ言葉を選び届ける必要がある。聞き手は同様に話し手の言外の意図も想像しつつ受け入れる必要がある。分かっているにもかかわらず真意が伝わらない(誤解を生む)ことは頻繁に生じる。相互の「想像力」が言葉を補完するのはそれほどに困難なのだろう。

対話を一般的な印象を基に表すと「人と人がわかり合うための言葉のやりとり」となるだろう。私たちは暗黙のうちに「同じ人間だから、話せば分かる」と楽観的に捉えてしまう。しかし、人類の歴史や昨今の国際情勢を見ていると「同じ人間なのに、話しても分からない」現実が世界各地で起きている。身近な差別やいじめも似ているかもしれない。(中略)今学校教育では児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善が実施されている。対話的学びは「子どもどうしの協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考えを広げ深める」ことが意図されている。そうであれば、前提となる違いを乗り越え協働できる力を身につけるために、対話の鍛錬が鍵を握る。(後略)

相手の背景を推し量りながら、相対して「話す」「聞く」ことは、大人にとっても難しい世の中です。ただ、様々な背景の違いを乗り越え協働できる青峰っ子に育てるには、「対話」は必要な力です。学校教育に加えて、家庭教育でも鍛うべき力です。子どもも一人の人間。私たち大人は常に、子どもの背景(立場)に思いを巡らす話し手・聞き手になっていきたいものです。



心に染みる一言



聞くということは
聞くということは

相手の存在を大切にすること
相手を理解すること

東井義雄



行事の力



先月の運動会の参観では、ご理解とご協力いただき大変感謝しております。皆様方の目には、運動会での青峰っ子の姿はどう映りましたか？私にとっては、“全員が本気で取り組んだ運動会だった”という一言に尽きます。

ここで、地域学校協議会の方からいただいた感想を幾つか紹介します。

2週間、毎回本番同様の練習、力強い演技、応援する態度すべてに感心させられました。(中略) 応援席の児童の態度、躰のよさが見て取れます。本日は久しぶりに青峰っ子の力強い態度を見せていただき感謝致します。感動した運動会でした。

(前略) 青峰っ子の可能性を引き出して下さり、これからの日々に必ずや勇気、気力、やる気を奮い立たせることでしょう。そのことに深く感謝いたします。“小学生といえどもなめちやいかん！”と深く思える時間でした。一人一人が輝いていました。

今後、青峰っ子には「みんなが本気でやれば、何でもできる」という気構えで、職員一同指導していきます。次に全員で行う行事は学習発表会です。学校全体で取り組む行事の力を効果的に活かして、青峰っ子の力を伸ばしていきます。ぜひ、ステージの上での子どもたちの姿に期待して下さい。



体調管理に配慮を



これからの季節は、コロナ対応に加え、インフルエンザ対応が必至になります。ご家庭では生活習慣を整え、換気、手洗い、検温等をお願いします。

11月の行事予定

- | | | |
|--------|--------------------|---------|
| 1日(火) | 児童朝会 | |
| 2日(水) | 秋の遠足 | |
| 3日(木) | 文化の日 | |
| 7日(月) | 5年 宿泊訓練(夜須少年自然の家) | ~8日(火) |
| 14日(月) | 家庭学習がんばり週間 | ~18日(金) |
| 19日(土) | 学習発表会 | |
| 21日(月) | 振替休日 | |
| 23日(水) | 勤労感謝の日 | |
| 28日(月) | 3年社会見学(消防署・鳥類センター) | |
| 29日(火) | 5年 ブリヂストーンものづくり教室 | |
| | 5・6年 プログラミング出前授業 | |

